

◎司会

田野大輔

Daisuke Tano

●甲南大学文学部教授

吉田 純

Jun Yoshida

●京都大学大学院人間・環境学研究科教授

「日独間

アナログ・ゲーミングの
非対称フロー」

ビョーン=オーレ・カム

Björn-Ole Kamm

●京都大学文学研究科講師

「日本とドイツにおける
世界的なホスピタリティ・
ネットワークAirbnbと
Couchsurfing」

ルイーゼ・シュトルテンベルク

Luise Stoltenberg

●ハンブルク大学社会学研究科博士課程

「日独の若者文化・ライフスタイルの研究」ワークショップ

日本とドイツの メディアアカルチャー

「ポップス教育大国、
DDRを解剖する!」

高岡智子

Tomoko Takaoka

●麗谷大学社会学部講師

「ドイツのメディア論と
メディアアート」

梅田拓也

Takuya Umeda

●東京大学学際情報学専攻博士課程

2019年 **3月19日** (火) 14:00~17:00
(受付開始 13:30)
京都大学楽友会館2階 会議・講演室

お申し込み方法

山岡記念財団ホームページより
お申し込みください。

<https://yamaoka-memorial.or.jp>

ネットでお申し込みの方は、13:15より優先入場して頂けます。
申し込みが切：2019年3月18日12:00迄。



主催 一般財団法人 山岡記念財団 〒530-0014 大阪府大阪市北区鶴野町 1-9 梅田ゲートタワー 18F
Tel:06-7636-0219 Fax:06-7636-0212 E-mail:yamaoka-memorial@yanmar.com

<https://yamaoka-memorial.or.jp>

後援



一般社団法人 大阪日独協会



共催



大学院人間・環境学研究科 学際教育研究部

日本とドイツのメディアカルチャー

「日独の若者文化・ライフスタイルの研究」ワークショップ

ビヨン＝オーレ・カム

Björn-Ole Kamm

京都大学文学研究科講師。
日本研究・コミュニケーション学が専門。グローバルな視点からロールプレイング・ゲームの研究を行っている。



日独間アナログ・ゲーミングの非対称フロー

1990年代から日本のマンガやアニメはドイツで大人気であり、2000年代からドイツのボードゲームやカードゲームの人気の高まりにより、日本でデザインされたアナログ・ゲームも増加している。ゲームデザイナー、翻訳者へのインタビューや税関・法律に関する調査にもとづいて、日独間のゲームと知識の移動の可能性と障壁を明らかにする。

ルイーゼ・シュトルテンベルク

Luise Stoltenberg

ハンブルク大学社会学研究科博士課程在学中。日常生活の社会学、デジタル文化、ツーリズム研究、都市研究を専門としている。



日本とドイツにおける世界的なホスピタリティ・ネットワーク

AirbnbとCouchsurfing

オンラインで民泊プラットフォームを展開するAirbnbとCouchsurfingが、世界中の旅行者のために個人の住宅を貸し出すよう促し、若いユーザーの間で人気を博している。新たな宿泊の形態である「民泊」の魅力を探り、とくにそれが住居の概念にどのような影響を与えているのか、そして都市の均衡をどのように変貌させているのかを明らかにする。

高岡智子

Tomoko Takaoka

龍谷大学社会学部講師。音楽学、映画音楽研究、ドイツのポピュラー文化史。教授可能性という観点からドイツのポップスについて研究を行っている。著書に「亡命ユダヤ人の映画音楽」（ナカニシヤ出版、2014年）がある。



ポップス教育大国、DDRを解剖する！

2000年代以降、ドイツ・ポップスが勢いを増している。公的資金を投入したポップス教育がドイツではじまったからだ。社会主義国家、DDR（東ドイツ）の国家主導型ポップス教育にこの源流があるのではないかと？ ポップスのミュージシャンだけでなく、DJまでも国家資格化され、公的機関での音楽教育が義務付けられていたポップス教育大国、DDRを解剖する。

梅田拓也

Takuya Umeda

東京大学学際情報学府博士課程在学中。20世紀後半のドイツ語圏で発展したメディア論の思想史的研究を進めている。



ドイツのメディア論とメディアアート

20世紀末のドイツでは、デジタル・メディアと文化の関係を論じるメディア論が発展し、それと並行するようにデジタル・メディアを利用したアートが発展した。学問と芸術という2つのシステムのつながりを、アーティストたちと親交をもちつつ、80年代のドイツのメディア論をリードしたF・キットラーの足跡から辿る。

司会



田野大輔

甲南大学文学部教授・山岡記念財団諮問委員

歴史社会学、ドイツ現代史が専門。現代ドイツの若者文化やライフスタイルの問題にも関心をもつ。



吉田 純

京都大学大学院人間・環境学研究科教授・山岡記念財団諮問委員

理論社会学、社会情報学が専門。ネット社会やメディアカルチャーの問題にも関心をもつ。

交通アクセス

市バス「近衛通（このえどおり）」下車 徒歩すぐ ※交通事情等で延着することがありますのでご了承ください。

- JR「京都駅」から
 - 市バスD2のりば、206系統「東山通 北大路バスターミナルゆき」、乗車時間約30分
 - 阪急「河原町駅」、京阪「四条駅」から
 - 市バス201系統、「祇園・百万遍ゆき」、乗車時間約20分
 - 市バス31系統、「東山通 高野・岩倉ゆき」、乗車時間約20分
 - 東山三条から
 - 市バス201系統「百万遍・千本今出川ゆき」、乗車時間約10分
 - 市バス206系統「高野 北大路バスターミナルゆき」、乗車時間約10分
- 駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用ください



京都大学楽友会館

〒606-8501 京都市左京区吉田二本松町